

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	デッサン I	科目コード	2620
シラバスコード	195E2R-2620		
授業時数/週	3時間/週		
開講年次・学期	1年・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	東野 真紀		
教員の実務経験			
職業実践専門課程 備考	連携企業等		

■科目詳細情報

授業概要	静物や人物の鉛筆デッサンを中心として、表現力と観察力を身につけることを目的とする。造形の基礎としてのデッサンの大切さと面白さを説き、東洋や西洋の美術の歴史もふまえ、幅広い美術の知識を伝達する。
到達目標（前期）	鉛筆や練り消しといったデッサンの道具の扱いに慣れて、構図を考えて絵が描けるようになる。よく見て立体を意識し、光と影の表現を線と調子で作ることができるようになる。
到達目標（後期）	モチーフをしっかりと観察し、構図や大きさを考えて絵が描けるようになる。明暗と陰影やボリューム感を意識して、立体をとらえて表現できるようになる。
授業方法	実習。短い時間で描く課題と、数週間かけて描く課題を課し、適宜講義・解説を行う。
実践的教育の内容	
評価方法（前期）	提出課題100%。課題に真摯に取り組み、課題に関する知識を理解した上で表現していること。
評価方法（後期）	提出課題100%。課題に真摯に取り組み、課題に関する知識を理解した上で表現していること。
授業外における学修	幅広く芸術作品に直接触れる機会を作り、積極的に美術館での鑑賞や芸術祭やワークショップなどに参加することが望ましい。
授業計画（前期）	第1週 オリエンテーション デッサンの基本的な道具の使い方
	第2週 鉛筆の濃淡とグラデーション 色の巾を知り、身近な物を描く
	第3週 人物クロッキー 時間を計って、人体を捉えて描く
	第4週 単純な形の静物デッサン 1 円錐・立方体・六角柱・正二十面体・正十二面体・貫通体・卵などを描く
	第5週 単純な形の静物デッサン 2 円錐・立方体・六面柱・正二十面体・正十二面体・貫通体・卵などを描く
	第6週 単純な形の静物デッサン 3 円錐・立方体・六面柱・正二十面体・正十二面体・貫通体・卵などを描く
	第7週 単純な形の静物デッサン 4 円錐・立方体・六面柱・正二十面体・正十二面体・貫通体・卵などを描く
	第8週 有機的なモチーフの静物デッサン 1 手や足などを描く
	第9週 有機的なモチーフの静物デッサン 2 手や足などを描く
	第10週 有機的なモチーフの静物デッサン 3 手や足などを描く
	第11週 有機的なモチーフの静物デッサン 4 手や足などを描く
	第12週 複数のモチーフを描く 1 組み合わせで構図を決める
	第13週 複数のモチーフを描く 2 組み合わせで構図を決める
	第14週 複数のモチーフを描く 3 組み合わせで構図を決める
	第15週 複数のモチーフを描く 4 組み合わせで構図を決める
	第16週 文字のある物を描く 1 文字の形を把握して描く
	第17週 文字のある物を描く 2 文字の形を把握して描く

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	発表 夏休みの課題について各自発表
	第19週	人物クロッキー 時間を計って、人体を捉えて描く
	第20週	石膏デッサン 1 面取り
	第21週	石膏デッサン 2 面取り
	第22週	石膏デッサン 3 面取り
	第23週	石膏デッサン 4 面取り
	第24週	石膏デッサン 1 面取り
	第25週	石膏デッサン 2 面取り
	第26週	石膏デッサン 3 面取り
	第27週	石膏デッサン 4 面取り
	第28週	人物クロッキー 時間を計って、人体を捉えて描く
	第29週	植物を描く 構造をつかむ
	第30週	石膏デッサン 1 ヴィーナス/アグリッパ
	第31週	石膏デッサン 2 ヴィーナス/アグリッパ
	第32週	石膏デッサン 3 ヴィーナス/アグリッパ
	第33週	石膏デッサン 4 ヴィーナス/アグリッパ
	第34週	石膏デッサン 5 ヴィーナス/アグリッパ
教科書・教材	OCHABI Institute『線一本から始める伝わる絵の描き方 ロジカルデッサンの技法』インプレス 2018年	
参考文献・資料	小澤基弘/高須賀昌志『創造のたねードローイングのはなしー』日本文教出版 2011年	
履修上の留意点	特になし	